



令和2年度主催事業 「Hikonist～英彦山登山紅葉編～」



○期日：令和2年11月1日 ○開催場所：英彦山青年の家及び英彦山 ○参加者数：14名

○事業のねらい

自然豊かな英彦山において、紅葉した景色や自然に触れながら登山を楽しむことを通して、仲間づくり及び運動のきっかけづくりを図る。

裏英彦山登山（青年の家→高住神社→薬師峠→ケルンの谷→中岳→北西尾根→高巣原高原→青年の家）

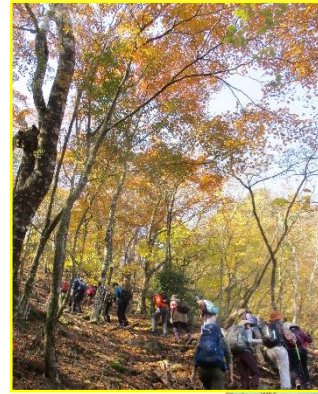
講師：日本スポーツ協会公認山岳コーチ4 園川陽造 氏
日本山岳会北九州支部副支部長 竹本正幸 氏

天気に恵まれ気持ちの良い気候の中、登山をスタートしました。色とりどりに紅葉した景色を楽しみながら登ることができました。

講師の先生からは、登山の際に必要な持ち物や靴紐の結び方、ストックの使い方など、安全に登山をするための基礎知識を教えてくださいました。

登山後には県立美術館「没後70年吉田博展」とのコラボレーション企画として、学芸員の高山さんの話を聞きました。吉田博の生い立ちや版画作品の魅力について詳しく知ることができました。

また HikoCafe タイムでは、添田町のお菓子を温かい飲み物と一緒に楽しみました。Hikonist として、安全に登山を楽しむという点からも登山後にホッと1日を振り返る時間は有意義な時間になったようです。



県立美術館コラボ企画 学芸員トーク

日中は青年の家研修室で県立美術館学芸員トークが行われました。パワーポイントや動画を使って、版画の種類や摺りの回数、吉田博の魅力について学芸員の高山さんから話を聞きました。説明後は、ススキや色づいた英彦山を楽しみました。

○感想

- ・登山初心者だったが、美しい景色に魅せられてとても楽しんで登ることができた。
- ・体力的に心配だったが、ガイドの方のペースですいすい登ることができた。
- ・英彦山登山にまたチャレンジしたい。
- ・吉田博について知ることができて展覧会も楽しみになった。

○全体を通して

距離をとったり、会話を控えたりと感染症対策をとりながら活動はしましたが、簡単に行くことができないコースを一緒に登って英彦山の景色を楽しめたことは参加者の心の距離を近づけるきっかけにもなったようです。また、美術館とコラボレーションしたことで、登るだけでなく見て楽しむという山の魅力をさらに知ることができ、普段山に登ってない方の参加にもつながりました。英彦山には、今回よりも易しいコースもあります。この事業をきっかけに、また英彦山登山にチャレンジして欲しいと思います。